

HDM推進会（第 13回）／ごみゼロネット推進会（第 35回）議事

録

開催日： 2011年(H23年)2月 7日(月) 10:00～12:10

場所： ウエスト

出席者： 大橋、杉本、市原、平林、加藤、加賀谷、川村、多田、桐生（作成）

議題：

2010/12/14の行政との第6回の打合せでは、①HDM処理能力は1ト/日、②週2回収集、③最初の目標は200所帯が参加、とすることが決定された。

収集の荷姿については、HDM推進会内部からも複数の意見が出て、まとまらなかった。

建物の方式については、①テントハウス方式、②プレハブ方式の何れにするかまでは決定されなかった。

行政から試案として出された工程表は、「実証試験開始がH25/6」というやる気が感じられない悠長なもので我々が到底、納得出来るものではなかった。これらの問題点について、この会合で調整する。

1. 住民説明会（加藤）

●町内会は通常、2、3ヶ月に1回、集会が行われる。エアズシティの1/16の集会は前回の積み残し議題をやるので、HDMの説明ができるのは2/20の会合になる。この時には色んなことを決めて行かなくてはならない。

●中町親愛会は2/20に話を聞いてくれる約束をしてきた。この時にはごみ対策課と一緒に住民に説明に行く。

●ハイデンス管理組合や中町マンション管理組合とも話し合う予定。

●次回に住民説明会に臨む際は、こちらからどんな説明をするかのマニュアルを準備しておく必要がある。既にどのようなことを説明したらよいか問うたところ、かなり細部に亘るしっかりした質問集を受け取っている。大まかな話では、とても通らない。

●「実証試験は何のためにやるのか」の意義について十分に説明されなくてはならない。

2. 生ごみ収集方法の討議（全員）

●このような試みは、最初は1割程度の人しか参加してくれないのがこれまでの実績である。それらの人たちを対象にやる場合と、全員に網掛けをしてやる場合は、収集の荷姿が全く異なってくる。今回は最初の人参加程度から徐々に増やして行くので、他の自治体がやっているような抗酸化バケツで収集する方式が現実的だと考える。（加藤）

●抗酸化バケツは収集後に家庭に持ち帰る時に、独身者等では帰宅までの間は放置されるのと、洗って持ち帰る問題がある。自分としては全域でやる場合の最終の姿を想定して、ポリ袋でやって、問題点を洗い出すのが良いと考える。（平林）

●この問題についてはかなり時間をかけて討論したが、ポリ袋では必ず臭気問題で負の評価が出るから、①メインは抗酸化バケツとし、②チョイスとしてポリ袋も使える、と我々の立場を統一することになった。

3. 実証施設の予算と経済性

●議会で予算3000万円ですべて1回200kgで週2回収集なら、年間20トで150万円/トの処理費用という計算をされて一発で計画が葬られる。議会ではすぐそのような議論になるので、それに対抗するために、どう説明するかをしっかりと固めておく必要がある。（加藤）

●10年間も使用できる設備を1年間で撤去するから、全てをごみ処理量にかけるのは無理がある。償却費を除いたネットの処理費用だけで説明させて欲しい。（大橋）

●中福Cが1回の収集量を200kgから始めてというのは、その論法で潰させるための手かも知れない。処理量はあくまでも1ト/日で押し通す必要がある。（杉本）

4. 試験施設の具体的構想

- 敷地300㎡でのレイアウト図が説明された。パッカー車の荷卸し場所や、シャベルローダーの可動範囲を考えると、これだけの広さが必要。(大橋)

1 / 2

- フォレスト社の竹井氏から150㎡での図面が行政に渡されており、議員達も同じものを持っているので、調整が必要。テントの費用にも関わる筈。(加藤)

5. HDM実証試験を「新たに実施する施策」に入れたか否かの確認

「ごみ減量審議会」の「23年度一般廃棄物処理計画案」の中の「2. ごみの減量目標及び達成に向けた施策」の「(2) ごみ減量達成に向けた施策」の「①新たに実施する施策」にHDM実証試験を入れたか否かの確認である。極めて姑息な手段ではあるが、提案元の行政がこれに入れないことで、行政は事務的に「HDM実証試験」を阻むことができる。

2010/12/14の行政との第6回の打合せで、行政は入れることを確約している。しかし、引き延ばし策に長けた行政が本当に実行するか否か信頼できない。大橋氏に確認願いたい。(杉本)

6. 決定事項

- (1) 処理目標は1ト/日とする。
- (2) 建屋構造はテントハウス方式とする。
- (3) 収集方法は 抗酸化バケツをメインとし、ポリ袋も可とする。
- (4) 行政の前で当方側が議論しないように心掛け、重大な発言は大橋氏に絞る。
- (5) 予定にないテーマで議論が必要な場合は、各自活発に発言願いたい。
- (6) 工程表からも、行政との次回の打合せ前に、住民説明会での説明内容を含む重要事項を具体的に決めておかないと、実証試験開始が早まらない。そのため、数日内に当会を開催して、対策を進めたい。

以

上

HDM推進会次回打合せ： ウエスト 1月15日 (土) 14:00~16:00
行政との次回打合せ： 市役所第2庁舎 802会議室 1月21日 (金) 10:00~12:00

